

地球温暖化対策の優良事業者として評価 令和2年度「ヨコハマ温暖化対策賞」受賞

株式会社そごう・西武(東京都千代田区、代表取締役社長:林 拓二)は、横浜市が一定規模以上の温室効果ガス排出事業者に作成・提出・実施を求めている「横浜市地球温暖化対策計画書制度」において、そごう横浜店での既存蛍光灯器具 4,300 灯の LED 化実施が高く評価され「令和2年度ヨコハマ温暖化対策賞」を受賞しました。実施に際し、一律に LED に交換するのではなく、商品エリアごとに照度や色温度、配置などを細かく検討し、店舗のイメージを向上させながら省エネルギーの実現を計画的に推進し、2018 年度に合計で 510 トンの CO2 削減を達成したことが評価のポイントとなりました。そごう・西武では、そごう横浜店以外の各店舗においても、2015 年度から照明設備の LED 化を推進し、計画的な省エネルギーによる CO2 削減に努めています。



■横浜市長からの表彰状



■そごう横浜店外観



■婦人服売場の LED 照明

■横浜市「令和2年度ヨコハマ温暖化対策賞」特設サイト URL

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/ondanka/keikakusho/R02ondankataisakusho.html#sogoseibu>



セブン&アイグループは、環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』を定め、4つのテーマで2030年、2050年の目指す姿と達成目標を掲げています。そごう・西武はグループの一員として、さらなる環境負荷低減を推進し、豊かな自然を未来世代に繋いでいきます。

CO2排出量削減

2050年までに店舗運営に伴う排出量80%削減(2013年比)

プラスチック対策

2030年までにプラスチック製レジ袋の使用量ゼロ

食品ロス・食品リサイクル対策

2050年までに食品廃棄物の発生原単位75%削減(2013年比)、食品リサイクル率100%

持続可能な調達

2050年までにオリジナル商品で使用する食品原材料は、持続可能が担保された材料100%使用

この取組みにより、国連で定めたSDGsの目標7・9・13に貢献します。

